

## 安来市立安来幼稚園PTAの実践（1年次終了）

### 1、 安来幼稚園PTA（会員数23名）の特徴

・本園は島根県の東部端に位置する安来市の中心街にあり、少子化と共働き家庭の増加と共に園児数が激減している。また、園全体の9割は核家族で、地域や保護者間での関わりも少なくなっている。

### 2、 特色ある取組

#### （1）取組の概要（ねらい）

○互いの存在を認め合う幼児の育成を目指し、一人ひとりが尊重し合える教育環境作りを行う。

○園・家庭、地域が連携、協働し互いに支え合えるつながりをもっていく。

#### （2）取組の詳細

##### ① 「社日山散策」をしよう

ア ねらい ○社日山（日本台・世界平）に出かけ、地域の自然や人と触れ合ったり、山登りの達成感を共有したりする。

イ 期 日 令和6年6月13日（木）

ウ 場 所 年長・年中児 社日山（日本台・世界平）・年少児 社日山（日本台・社日公園）

エ 内 容 社日山までの道のりを、保護者と一緒に歩きながら、子どもたちの普段の園外活動の様子（交通マナー・異年齢交流など）や地域と自然・人との関わりを共有し歩いた。



##### 参加者の感想

・みんなが弱音を吐くことなく頑張って世界平まで行くことが出来て、体力も精神的にも強く成長していると感じました。  
・安来の景色がとてもきれいでこんな山が近くにあって素晴らしいなと、いい思い出になりました。  
・紫陽花や様々な草花を見つけたりして、自然に触れながら親子共に楽しい時間を過ごすことが出来ました。

##### ② 「ギニアのお話会」

ア ねらい ○ギニアの話を通し、様々な人との関わり、多様性に気づく。

イ 期 日 令和6年6月14日（金）

ウ 場 所 安来幼稚園 遊戯室

エ 内 容 園児の保護者（ギニアより来日）を講師に、ギニアを紹介してもらい、子ども、保護者共に知識を深め、親しみを持ち、子どもや保護者の豊かな人間関係を育んでいくことにつなげて行った。

##### ③ 「読み聞かせ体験・お話読んで～」

ア ねらい ○保育者による保護者への読み聞かせや、人権に関する知識や理解を深める絵本を通し親子での気づきにつなげる。

イ 期 日 令和6年6月19日（水）

ウ 場 所 安来幼稚園 遊戯室

エ 内 容 人権に関する絵本の読み聞かせを保育者や親子間で行い、その時の子どものつぶやきや感じたことを



書いてもらい、共有した。

#### ④ 「夏祭りだ！宝探し迷路プロジェクト」

ア ねらい ○保護者同士が連携しながら進め、達成感と連帯感を高める。

イ 期 日 令和6年7月5日（金）（製作期間2週間）

ウ 場 所 安来幼稚園 2階多目的部屋2室

エ 内 容 園の七夕祭りに合わせ、PTA執行部を中心に多目的部屋2部屋を使って段ボール迷路を作成。迷路に使う段ボールは全保護者に呼び掛けて集めた。七夕祭りでは園の親子で楽しみ、子どもたちはその後（迷路作り）の遊びへと発展させていった。



##### PTAの役員・保護者の感想

- ・迷路を喜んでくれて、苦勞が報われました。私にとっても生涯忘れられない思い出となりました。大人になって仕事以外でこんなに人と協力して何かを作り上げたことはなかったかもしれません。ありがたい経験です。
- ・迷路が色々なコースがあったり、滑り台があったりで見ている親も楽しみました。
- ・役員さんによる段ボール迷路は大喜びで何回も挑戦して楽しみました。すごかったです。

#### ⑤ 「ゆるりん会～子育て支援」

ア ねらい ○保護者同士がリラックスした時間の中で、話を聞いたり、会話を楽しんだりしながら、子育ての情報を交換し合う

イ 期 日 5月28日、6月28日、学期に1～2回

ウ 場 所 安来幼稚園・交流センター調理室など

エ 内 容 親学、おやつクッキング、手芸など



##### 親学の感想

思いやりを尊重する、人の気持ちに共感するなど周りの人と一緒に生きていく中で、自分も周囲の人も大切にしていけるように、まずは親としてお手本になるような行動をしたいと思います。

##### おやつクッキング感想

- ・とても楽しい時間でリフレッシュ出来ました。
- ・食生活を見直す良い機会になりました。
- ・同じように悩んでいることを知り、気持ちが楽になりました。



#### (3) 取組を終えて（成果と課題）

・保護者も交えて活動したことで、保護者と子ども、保護者同士が繋がり、感動体験を共にすることが出来たことにより、子ども理解につながったと考える。また、活動によっては保護者自身もリフレッシュし、その後の保護者間の関わりにも広がり生まれた。

・「ギニアのお話会」「人権関連絵本の読み聞かせ」などから多様性について知り、認め合う人権教育のきっかけになったと思った。

・今年新たに地域の交流センターでの高齢者交流を行った。核家族の家庭で生活している多くの子どもたちにとって、高齢者の方からの温かい眼差しや関わりは思いやりを深めるきっかけになり、今後も交流センターと連携を取りながら地域交流が続けられると良いと思っている。

・今後も共に子どもの育ちを支え、喜び合えるような保育者集団の醸成や保護者との連携を大切にしながら、保育活動を計画し実践していきたいと思う。